



教育の質の充実と高齢者の 移動手段、介護支援について

権田 昌弘 議員



質問 多くの外国語に触れていた
ただく取組や教育を進めていく考えは。

める考えがあるか。

答弁 多様な言語や文化に触れる学習は、意義のある取組であると考えており、共に学び合う教育活動を支援していきます。

質問 金融に関する学びを銀行などと協力しながら進

答弁 銀行や民間企業による出前授業や教材提供は大変有意義で、子どもたちが将来、経済的な不安やトラブルを回避し、自分らしい豊かな人生を歩むことができるよう、充実した金融教育を行いたいと考えます。

質問 アンガーマネジメン

ト教育を広げる考えは。

答弁 問題行動や不登校などの課題の未然防止に向け、児童生徒の実態や発達段階に応じて、アンガーマネジメントを含めた人間関係形成能力の育成に努めます。

質問 科学、技術、工学、芸術、数学などを統合して学ぶSTEAM教育を進める考えがあるか。

答弁 文部科学省は、STEAM教育など各教科等横断的な学習の推進を示しています。本市の特色として、

「里沼」を題材にした探究的な学びを行っており、今後、STEAM教育の視点を大切にしながら、子どもたちが社会の課題に主体的、創造的に向き合う力を育んでいきます。

質問 安全対策のために免許返納をお願いし、返納したら移動ができなくなる。しっかりと対応を考えなければならぬと思うが、デマンドタクシー、ライドシェアの検討は。

答弁 AI等の技術の進歩



ごみの減量化と公共用地の活用について

野本 泰生 議員



質問 ごみを減らすため、3R（リデュース、リユース、リサイクル）推進のための具体的な施策は。

ど、ごみの減量化に向けた啓発事業を行っています。

答弁 市民に対し、生ごみ処理等に係る補助、ごみゼロ館リユースイベント開催のほか、たてばやしクリーンセンターの内部見学会、子ども向けの出前講座な

質問 さらなるごみの減量化に向け、有料指定ごみ袋の導入を計画しているようだが、その理由は。

答弁 金銭的な負担を意識する心理的動機づけという経済的インセンティブを活用して、ごみ排出の抑制と

分別の徹底を図りたいと考えています。導入済み自治体を分析した結果によると、約1割の生活系ごみの減量につながり、リサイクル率も向上しています。

質問 有料となった場合、標準的な家庭における1年間の負担見込額は。

答弁 参考値ですが、近隣自治体の例で試算すると年間1980円から3300円となります。

要望 有料化を導入する場合、低所得世帯や子育て

を含め、引き続き研究し、誰もが移動しやすい活力ある館林都市圏の実現に向け、取り組んでいきます。

質問 介護に関して、忘れてはいけませんが、介護を支えるご家族への支援だと思いが、その理解、考えはどう感じているか。

答弁 ケアマネジャーを対象とした研修会や情報共有の機会の充実を図り、介護されるご家族の皆様が安心して相談できる環境づくりに努めます。

と子育て支援施設。3つ目が商工会議所、産業振興センター、児童センターで、これらの複合化により機能集約を図り、効率的な運営を実現しなければならぬと考えています。なお、国、県の施設についても、それぞれ意見交換をしています。

質問 公共用地の利活用の考え方や今後の進め方は。

答弁 統廃合など再編を計画的に行い、官民連携も進めながら、実現に向けて全力で取り組んでいきます。